



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月25日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4552 URL <https://www.jcrpharm.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営戦略本部長 (氏名) 伊藤 洋 TEL 0797(32)1995
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	24,272	55.8	6,898	826.2	7,126	353.9	5,253	445.6
2023年3月期第2四半期	15,581	△45.1	744	△94.5	1,569	△88.6	962	△89.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 5,877百万円 (437.4%) 2023年3月期第2四半期 1,093百万円 (△88.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	42.10	41.90
2023年3月期第2四半期	7.77	7.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	103,988	57,125	53.9
2023年3月期	94,937	52,413	54.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 56,041百万円 2023年3月期 51,421百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,400	32.2	10,500	111.0	10,000	84.6	7,300	93.5	58.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	129,686,308株	2023年3月期	129,686,308株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	4,889,714株	2023年3月期	4,910,773株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	124,787,306株	2023年3月期2Q	123,933,051株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
3. その他	11
研究開発項目	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当期の経営成績

売上高は242億72百万円（前年同期比55.8%増）となりました。

遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト[®]」は、2023年4月に薬価改定はありましたが、販売数量が大きく増加しました。また、腎性貧血治療薬および「イズカーゴ[®]点滴静注用10mg」も好調に推移しました。アストラゼネカ株式会社の新型コロナウイルスに対するワクチン原液の国内製造の受託を予定どおり終了したことによる減収はありましたが、主力製品が好調に推移し、契約金収入も増加した結果、前年同期に比べて増収となりました。

営業利益は68億98百万円（前年同期比826.2%増）、経常利益は71億26百万円（前年同期比353.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は52億53百万円（前年同期比445.6%増）となり、いずれも増益となりました。

積極的な研究開発活動の結果、研究開発費は31.3%増加し55億35百万円（前年同期比13億18百万円増）となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
売上高	15,581	24,272	55.8
営業利益	744	6,898	826.2
経常利益	1,569	7,126	353.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	962	5,253	445.6

②主な売上

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
ヒト成長ホルモン製剤 グロウジェクト [®]	6,083	8,746	43.8
ムコ多糖症Ⅱ型治療剤 イズカーゴ [®] 点滴静注用	2,118	2,581	21.9
腎性貧血治療薬	2,157	2,674	24.0
エポエチンアルファBS注「JCR」	1,392	1,046	△24.8
ダルベポエチンアルファBS注「JCR」	765	1,628	112.7
再生医療等製品 テムセル [®] HS注	1,701	1,901	11.8
ファブリー病治療薬 アガルシダーゼベータBS点滴静注「JCR」	521	590	13.1
医療機器	50	72	44.9
契約金収入	1,010	7,112	604.2
AZD1222原液	1,931	—	△100.0
その他	6	591	—

③研究開発の状況

[ライソゾーム病治療薬]

- ・当社では現在、17種類を超えるライソゾーム病治療薬について、独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo[®]」を適用した新薬の研究開発に重点的に取り組んでおります。
- ・血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素製剤pabinafusp alfa（開発番号：JR-141）については、米国において米国食品医薬品局（FDA）より2022年12月にRare Pediatric Disease（※1）の指定を受けております。2022年2月にはグローバル臨床第3相試験において最初の被験者への投薬が開始されており、現在、被験者の登録を進めております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症Ⅰ型治療酵素製剤lepunafusp alfa（開発番号：JR-171）については、現在、日本・ブラジル・米国での13週間の臨床第1/2相試験を完了し、その継続試験を実施しております。グローバルでの臨床第3相試験の早期開始に向けて、準備を進めております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症ⅢA型治療酵素製剤（開発番号：JR-441）については、ドイツ連邦共和国規制当局Paul-Ehrlich Institute(PEI)に第1/2相試験のCTA（clinical trial application）が受理されました。現在、被験者のリクルートを行っております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症ⅢB型治療酵素製剤（開発番号：JR-446）については、現在、2024年度中のグローバル臨床試験開始に向けた取り組みを進めております。2023年9月に株式会社メディパルホールディングスと海外における事業化についての実施許諾契約および、日本における共同開発・商業化契約を締結いたしました。
- ・その他のJ-Brain Cargo[®]を適用したライソゾーム病治療薬（ボンペ病治療薬（開発番号：JR-162）、スライ症候群治療薬（開発番号：JR-443）、GM2ガングリオシドーシス治療薬（開発番号：JR-479）についても、研究開発を順次行うとともにグローバル展開を推進してまいります。なお、フコシドーシス治療薬（開発番号：JR-471）につきましては、2022年10月に締結した実施許諾契約に基づき、株式会社メディパルホールディングスに対し、日本を除く全世界における研究・開発、製造および販売などの事業化に関する再実施許諾権付の独占的実施権を許諾いたしました。現在、臨床試験開始に向けた必要な研究等を進めております。

[基盤技術の創出]

- ・JCR独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo[®]」の様々なモダリティへの応用可能性を広げる研究の他、J-Brain Cargo[®]技術に続く新たな基盤技術の創出に注力しております。
- ・2023年5月にアンジェリーニファーマとてんかんを対象疾患として、J-Brain Cargo[®]技術を適用した新規生物学的治療薬の独占的グローバル開発および商業化契約を締結いたしました。

[再生医療等製品]

- ・「テムセル[®]HS注」の新たな適応拡大として新生児低酸素性虚血性脳症（開発番号：JR-031HIE）に対する臨床第1/2相試験を終了いたしました。現在、長期安全性、有効性のフォローを主たる目的とした観察試験の結果について最終解析を実施中であります。

[ヒト成長ホルモン製剤]

- ・「グロウジェクト[®]」の骨端線閉鎖を伴わないSHOX異常症における低身長（開発番号：JR-401X）の効能追加については、2023年6月に一部変更承認を取得いたしました。
- ・長時間作用型遺伝子組換えヒト成長ホルモン製剤（開発番号：JR-142）の臨床第2相試験を終了いたしました。現在、投与された患者さんを対象とした継続試験を実施中であります。また、臨床第3相試験の開始に向けた準備を進めております。

※1 Rare Pediatric Disease指定

希少小児疾患の予防と治療のための新薬および生物製剤の開発を促進することを目的としているもの。今後の米国における製造販売承認のための優先審査パウチャーを取得できる可能性がある。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は1,039億88百万円（前連結会計年度末比90億50百万円増）、負債合計は468億62百万円（前連結会計年度末比43億38百万円増）、純資産合計は571億25百万円（前連結会計年度末比47億12百万円増）となりました。

流動資産は、未収入金が減少した一方で、現金及び預金、売掛金及び契約資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ100億95百万円増加して578億98百万円となりました。固定資産につきましては、繰延税金資産が増加した一方で、有形固定資産が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ10億44百万円減少して460億90百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等および未払消費税等が増加した一方で、短期借入金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ37億66百万円減少して319億95百万円となりました。固定負債は、長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ81億4百万円増加して148億66百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末に比べ47億12百万円増加して571億25百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.3ポイント低下して53.9%となりました。

現時点では当社グループにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響は受けておりませんが、今後の世界情勢の見通しが立たない中、当社グループがグローバルで持続的な成長を行うために、機動的かつ安定的に資金調達手段を確保する必要があり、各金融機関との間で、バックアップラインとして運転資金を確保する事を目的として、総額230億円のコミットメントライン契約を締結しております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ26億89百万円増加して159億68百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況および主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、35億21百万円（前年同期比45億48百万円の収入増）となりました。これは主に、売上債権の増加額93億76百万円があった一方で、税金等調整前四半期純利益の計上額71億20百万円、減価償却費の計上額13億35百万円、未払消費税等の増加額12億63百万円、法人税等の還付額22億28百万円があったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、12億88百万円（前年同期比4億91百万円の支出減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出8億38百万円があったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、7億61百万円（前年同期比7億17百万円の支出減）となりました。これは主に、配当金の支払額12億49百万円があったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は前年同期比で増収増益となりました。

2024年3月期の業績予想に関しましては、2023年9月28日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,278	15,968
売掛金及び契約資産	11,137	20,514
商品及び製品	1,098	873
仕掛品	5,717	6,448
原材料及び貯蔵品	11,699	11,951
その他	4,870	2,142
流動資産合計	47,802	57,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,128	14,536
土地	10,379	10,379
建設仮勘定	13,008	144
その他(純額)	2,165	5,904
有形固定資産合計	32,681	30,964
無形固定資産		
特許権	2,434	2,296
その他	1,217	1,406
無形固定資産合計	3,652	3,703
投資その他の資産		
投資有価証券	8,867	8,959
その他	1,938	2,467
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	10,800	11,422
固定資産合計	47,135	46,090
資産合計	94,937	103,988
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,563	1,120
短期借入金	16,800	9,700
1年内償還予定の社債	500	—
未払法人税等	33	2,537
圧縮未決算特別勘定	11,996	11,996
賞与引当金	974	1,191
役員賞与引当金	114	57
その他	3,779	5,393
流動負債合計	35,762	31,995
固定負債		
長期借入金	5,500	13,600
従業員株式給付引当金	95	84
退職給付に係る負債	924	964
その他	241	217
固定負債合計	6,761	14,866
負債合計	42,523	46,862

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	10,384	10,384
利益剰余金	34,273	38,277
自己株式	△2,978	△2,967
株主資本合計	50,740	54,756
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	555	629
為替換算調整勘定	146	678
退職給付に係る調整累計額	△20	△21
その他の包括利益累計額合計	681	1,285
新株予約権	740	812
非支配株主持分	251	271
純資産合計	52,413	57,125
負債純資産合計	94,937	103,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	15,581	24,272
売上原価	4,836	5,881
売上総利益	10,744	18,391
販売費及び一般管理費	9,999	11,493
営業利益	744	6,898
営業外収益		
受取利息	5	41
受取配当金	15	13
為替差益	814	671
その他	25	69
営業外収益合計	861	796
営業外費用		
持分法による投資損失	—	507
支払利息	21	40
支払手数料	6	10
その他	8	10
営業外費用合計	36	568
経常利益	1,569	7,126
特別損失		
固定資産処分損	9	5
特別損失合計	9	5
税金等調整前四半期純利益	1,560	7,120
法人税、住民税及び事業税	62	2,387
法人税等調整額	521	△527
法人税等合計	583	1,860
四半期純利益	976	5,260
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	962	5,253

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	976	5,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	73
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	150	103
退職給付に係る調整額	5	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	—	441
その他の包括利益合計	116	617
四半期包括利益	1,093	5,877
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,040	5,857
非支配株主に係る四半期包括利益	52	20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,560	7,120
減価償却費	953	1,335
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	32	43
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	6	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	162	216
株式報酬費用	173	71
受取利息及び受取配当金	△21	△55
支払利息	21	40
為替差損益 (△は益)	△1,517	△682
売上債権の増減額 (△は増加)	6,996	△9,376
未収入金の増減額 (△は増加)	△499	733
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,175	△757
仕入債務の増減額 (△は減少)	228	△443
未払金の増減額 (△は減少)	△2,212	816
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△313	1,263
持分法による投資損益 (△は益)	—	507
その他	92	445
小計	4,490	1,278
利息及び配当金の受取額	21	55
利息の支払額	△23	△40
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△5,516	2,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,027	3,521
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,333	△838
その他	△446	△449
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,779	△1,288
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△6,900
長期借入れによる収入	2,750	8,650
長期借入金の返済による支出	△2,750	△750
社債の償還による支出	—	△500
自己株式の純増減額 (△は増加)	8	11
配当金の支払額	△1,489	△1,249
その他	1	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,479	△761
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,660	1,217
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,625	2,689
現金及び現金同等物の期首残高	30,733	13,278
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,107	15,968

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

研究開発項目

遺伝子組換え医薬品

開発番号 (物質名)	開発段階	適応症等	備考
JR-141 (血液脳関門通過型遺伝子組換え イズロン酸-2-スルファターゼ)	グローバル: 臨床 第3相試験	ムコ多糖症II型 (ハンター症候群)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo [®] 」採用
JR-171 (血液脳関門通過型遺伝子組換え α-L-イズロニダーゼ)	グローバル: 臨床 第1/2 相試験	ムコ多糖症I型 (ハーラー症候群等)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo [®] 」採用 「J-MIG System [®] 」採用
JR-162 (J-Brain Cargo [®] 適用遺伝子組換え酸性 α-グルコシダーゼ)	前臨床	ポンペ病	酵素補充療法 「J-Brain Cargo [®] 」採用
JR-441 (血液脳関門通過型遺伝子組換え ヘパランN-スルファターゼ)	グローバル: 臨床 第1/2 相試験	ムコ多糖症III A型 (サンフィリップ症候群A 型)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo [®] 」採用
JR-443 (血液脳関門通過型遺伝子組換え β-グルクロニダーゼ)	前臨床	ムコ多糖症VII型 (スライ症候群)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo [®] 」採用
JR-446 (血液脳関門通過型遺伝子組換え α-N-アセチルグルコサミニダーゼ)	前臨床	ムコ多糖症III B型 (サンフィリップ症候群B 型)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo [®] 」採用
JR-479 (血液脳関門通過型遺伝子組換え β-ヘキソサミニダーゼA)	前臨床	GM2 ガングリオシドーシ ス (テイ・サックス病、サン ドホフ病)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo [®] 」採用
JR-471 (血液脳関門通過型遺伝子組換え α-L-フコシダーゼ)	前臨床	フコシドーシス	酵素補充療法 「J-Brain Cargo [®] 」採用
JR-142 (遺伝子組換え持続型ヒト成長ホルモン)	臨床 第2相試験	小児成長ホルモン分泌不全 性低身長症	「J-MIG System [®] 」採用

再生医療等製品

開発番号 (作用機序等)	開発段階	適応症等	備考
JR-031HIE (ヒト体性幹細胞加工製品)	臨床 第1/2 相試験	新生児低酸素性虚血性脳症	「テムセル [®] HS注」適応 拡大